海外安全対策情報

1 政治・社会情勢

(1) グアナファト州の2017年第1四半期の殺人件数は268件に上り、引き続き高いレベルを維持しており、2017年上半期の殺人件数は530件と、昨年同時期比で20%増加している。

(2) 週末になると州内で10人前後が殺される事も多く、バーやディスコの襲撃事件も複数発生した。セラヤ市、レオン市、シラオ市の警察官が殺害され、また5月25日には、アパセオ・エル・グランデ市(トヨタ建設地)の警察署長が暗殺された(往電第265号参照)。

(3) 当地治安当局によれば、これら殺人事件の大半は、犯罪組織間の抗争、中でも石油盗難に関する争いが背景にあり、一般市民に影響を及ぼすものではないとの事である。2017年上半期のグアナファト州の石油盗難件数は827件と国内トップとなっており、昨年同時期比で60%も増加している(報道ベース)。州政府は軍の支援を要請する等、石油盗難対策に力を入れているが、現時点では事態の収拾は図れていない。

(4) 州政府は、治安悪化を食い止めるため、イラプアトに軍の駐屯地を建設する計画を進めてきており、5月9日に起工式が行われた。来年1月には完成予定で、3200人の軍人が駐屯出来る規模を誇る。

(5) 尚、サカテカス州では、治安が悪化しており、特に州境における注意が必要である。4月20日、サカテカス州ノチストラン市(ハリスコ州との州境)において、夜中に20分間、銃撃戦が行われ、警察が現場に行くと1500個の薬莖、6つの手榴弾が発見された。同地域では、犯罪組織間の抗争が激しく、州知事は100人の治安要員を同市に派遣し警備強化を開始した。また、5月末に軍は、本年に入り、サカテカス州内で222カ所のマリファナ畑(47.5ヘクタール)、60カ所の阿片畑(14.5ヘクタール)を破壊し、10トンの麻薬を押収、23人を逮捕したと発表した。なお、治安悪化が見られるのは州境が中心となっており、州都のサカテカス市自体は大きな影響は受けていないと見られている。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) グアナファト州一般犯罪

グアナファト州においては、第1四半期(4~6月)の総犯罪発生件数は29,104件と、前期(1~3月)と比較して2%増加した。犯罪種別の内訳は以下の通り。

ア 窃盗	7,054件	(前期比	5.2%減)
イ 殺人	268件	(前期比	2.3%増)
ウ 強盗	2,268件	(前期比	12.0%減)
エ 強姦	86件	(前期比	6.2%増)
オ 誘拐	0件	(前期比	100.0%減)

(2) 邦人被害事案

邦人被害の犯罪発生状況(2017年4月1日~6月30日)

4/5 (水) 20:30頃	ケレタロ州 ケレタロ市 フリキージャ地域 (スーパーまたは 薬局の駐車場)	在留 邦人 男性	スーパーと薬局へ買い物に行き自宅に戻ったところ、運転席の後ろ、2列目シートの足元に置いていた宿泊用具等の入ったカバンが盗まれていることに気がついた。外観では分からない程度であるが、車の鍵穴が破損していた。	窃盗(車上 荒らし)
4/26 (水) 12:30	グアナファト州 サンフランシスコ デルリンコン市 (ショッピングセ ンターの駐車場)	在留 邦人 出張 者 男性	ショッピングセンターPlazarella の駐車場に車を止め、昼食に出たところ、運転手側のドアをピッキングされ車内に置いていたバッグ4点、すべてを窃取された。貴重品：旅券、パソコン、現金等	窃盗(車上 荒らし)
5/13 (土) 18:55 ～ 19:05	ケレタロ州 エルマルケス市 (ファーストフー ド店の駐車場)	在留 邦人 男性	Carretera 57, Kilometro 196 周辺の Burgerking の駐車場に車をとめて店に入り、車に戻ると運転席側のドアが壊されており、車内に置いてあったカメラ、パスポート、メキシコ滞在許可証、衣類がなくなっていた。	窃盗(車上 荒らし)
5/19 (金) 21:30	アグアスカリエ ンテス州 アグアスカリエ ンテス市 (スターバックス コーヒーの駐車 場)	在留 邦人 男性	Desarrollo Especial Villa Asuncion 地域、Jose Maria Chavez 通り 1531 番地駐車場に車を止め5～10分程度店内で買い物をしていたところ、運転手席側後方の窓ガラスを割られ、後部座席に置いていたパスポート、手帳、鍵等の入ったカバンを窃取された。翌週、該当地域を管轄している警備員より、プラサ・フィエスタ(被害場所より70号線をはさんだ向かい側)の植込みからカバンが発見された旨の連絡を受けた。パスポートは無事だったが、デジタルカメラ、約500ペソ分のガソリンチケットが盗まれていた。警備員によると、同様の手口での被害が同月で4件近く発生しているとのことだった。	窃盗(車上 荒らし)
5/27 (土) 21:00	ケレタロ州 ケレタロ市 フリキージャ地域 (スーパーマーケ ットの駐車場)	在留 邦人 男性	スーパーマーケット・Superama の駐車場に車を止め併設のレストランで食事をしていたところ、車の鍵を壊され、車内に置いていたパスポート、パソコン、現金、カード類の入ったカバンを窃取された。	窃盗(車上 荒らし)

5/29 (月) 以前	グアナファト州 レオン市 (市営バス車内)	在留 邦人 女性	所有している銀行口座の残高が減っていることに気づき銀行へ詳細を確認したところ、5月29日に今まで行ったことのないATMで6800ペソを引き出されていることが分かり、その場で口座停止の手続をした。その口座のカードがなくなっていることに後から気がついた。通勤途中のバスの中でカードと家の鍵をすられたと思われる。	窃盗(スリ)
5/31 (水) 21:00 頃	グアナファト州 有料道路45D号 線(ケレタロ州と の州境)	在留 邦人 男性	45D線をケレタロ方面へ走行中、路上に置かれていた大きな障害物(石)を回避できずに乗り上げてしまい、タイヤがパンクしてしまった。路肩に車両を止め状況を確認しようとしたところ、拳銃を持った二人組に脅され、カバン、財布、携帯電話を窃取された。犯人らはパンクを修理したのち同車両を使用し被害者を人通りの少ない場所まで連行し、SIMカードを抜いた携帯電話、現金を抜いた財布と50ペソを渡し、そのまま被害者の車で逃走した。被害者は携帯電話のGPSを頼りに料金所まで歩き、料金所係員に携帯電話を借り、同僚に保護を求めた。	強盗(自動車強盗)
5/31 (水) 22:00 頃	グアナファト州 レオン市 ナトゥーラ地域 (自宅)	在留 邦人 男性	帰宅したところ、朝家を出るときに消したはずの2階へいく階段の電気が点いていたため不審に思い、リビングを確認すると、テレビがなくなっておりリビングに直結している窓が開いていることに気がついた。テレビが計2台、電子レンジ、IPHONE、電子書籍、クレジットカード、現金、バッグ、スーツケース、サングラス、帽子、パソコン、オーディオコンポ、キーケース等が盗難に遭っていた。守衛に連絡し監視カメラを確認するも、家の方を向いていたカメラの位置がずらされており、犯人の姿は確認することができなかった。帰宅時、玄関の鍵は閉まっており、無理やり開けられたような形跡もなかった。リビングの窓の隙間に小さな金属の引っかき傷のようなものがあったが、どのように侵入したか、犯人の手がかり等は現場検証の時点では判明していない。	窃盗(空き巣)
6/12 (月) 22:00 頃	ケレタロ州 ケレタロ市 フリキージャ地域 (サンタ・フェ通り)	在留 邦人 男性	一人で徒歩で帰宅途中、背後から二人乗りのバイクが近づいてきて、被害者の横で止まり話しかけてきた。後部座席に座っていた者に肩掛けカバンを引っ張られた際に、拳銃を所持していることに気がつき、強盗だと認識した。何を言っているのかは詳しく分らなかったが、スペイン語で「早く」と急かされたため、スマートフォンと現金1700ペソ程度を渡したところ、犯人達はまっすぐ進行方向へ逃走していった。	路上強盗 (けん銃使用)

6/16 (土) 2:00 頃	サンルイスポトシ州サンルイスポトシ市セントロ地域 (Independencia 通り と Mariano Arista 通りの交差点)	在 留 邦 人 男性	バーを出て10メートル程先の交差点でタクシーを探していたところ、バイクに乗った市警察らしき警官2名に職務質問された。「酔って歩いているのは罪になる。どうしてバーの前でタクシーを拾わないのか。警察署まで行かなければならない」等と言い被害者が所持していた布袋を開け物色し、ポケットに入れていた財布を取り出し現金を調べられた。一人に話しかけられている間、もう一人が被害者の背後で財布を確認しており、その際に現金約500ペソを抜き取られた可能性がある。その後、タクシーで帰るように言われタクシーを捕まえて乗り込んだが、布袋を返却してもらっていないことに気付き、現場に戻ったが、警察官はもういなかった。袋の中には眼鏡を入れていた。	窃盗(スリ)
6/26 (月) 20:00 頃	サンルイスポトシ州サンルイスポトシ市 (路上、57号線沿い)	出 張 者 男性	市内57号線沿いCarl's Jr. 付近の路上を邦人3名で徒歩で移動中、5人組の自転車に乗った若者に銃 (またはモデルガン) とスタンガン突き付けられ、金銭を要求された。スタンガンが接触したり小突かれたりしたものの、3名共身体的被害はなく無事だが、現金、クレジットカード、スマートフォン等を窃取された。	路上強盗
6/26 (月) 22:30 頃	グアナファト州レオン市 (コンビニエンスストアの駐車場)	在 留 邦 人 男性	Paseo de Jerez 通り沿い、運動公園裏のコンビニエンスストア・オクソに車を止め、店内で買い物をしていたところ、運転席側後部座席の窓ガラスを割られ、車内に置いていた袋を盗まれた。貴重品は入っていなかった。	窃盗(車上荒らし)

3 テロ・爆弾事件等発生状況

(1) 邦人被害事案

なし。

(2) 邦人以外の被害事案

ア 襲撃事件

4月1日夜12時、グアナファト州セラヤ市にあるバー「エル・カナカ」に、複数の男性が乱入し、店の内外にいた人に発砲。2人の男性、2人の女性が死亡し、6名が重軽傷を負った。また、同日朝6時、アパセオ・エル・アルト市にあるディスコ「アマソナス」にも複数の男性が乱入し発砲、1名の女性が死亡、5名が負傷した。

イ 襲撃事件

5月21日夜9時半、アパセオ・エル・アルト市のバー「ラ・カバーニャ」に複数の男性が乱入し、発砲するとともに店内に手榴弾を投げ入れた。6人の男性が死亡し、10名が重軽傷を負った。日系企

業に勤める日系ペルー人1名が同事件に巻き込まれ、太ももに被弾した（往電第312号参照）。

4 誘拐・脅迫・恐喝事件発生状況

（1）邦人被害事案

なし。

（2）邦人以外の被害事案

ア 誘拐

5月31日朝2時、レオン市警察が市民から、30日夜8時にレオン市ビジェ・デ・ラ・ルス地区で男性（38歳）が、暴行を受け誘拐されたとの通報を受けた。警察は現場に急行し、被害者を解放した。同人の話によれば、自分が運転するガソリン・タンクローリーの鍵をよこせと言われ、監禁され暴行を受けたとの事。被害者からの情報を元に警察が捜索を行い、5人が逮捕された。

イ 誘拐（往電第293号参照）

3月13日、グアナファト州サン・ミゲル・デ・アジェンデ市中心部近くで、フランス人女性が車に乗せこまれ誘拐され、78日間の拘束の後、身代金を支払うことなく解放された。その後、検察庁は、本件誘拐の犯行に関与していたとして、国際指名手配されていたチリ人テロリスト、ラウル・フリオ・エスコバル・ポブレテを逮捕した旨発表した。

同人が所属する犯罪集団はこれまでも複数の誘拐に関与していたと見られており、ディエゴ・フェルナンデス・デ・セバージョス元上院議員（2010年5月、ケレタロ州の自分の農園で誘拐され、2,000万ドル支払って2ヶ月後に解放された。）、ビセンテ・フォックス元大統領の息子の元妻ミカ・フラド・マイコッテ（2015年4月、サン・ミゲル・デ・アジェンデ市内の小学校に子供を送り届けた帰りに車に乗せこまれ、7ヶ月後に解放された。）、企業家エドゥアルド・ガルシア・バルセカ（2007年6月にサン・ミゲル・デ・アジェンデ市内の自宅近くで車に乗せこまれ、7ヶ月後に解放された。）の誘拐事件に関わったと見られている。なお、検察が似顔絵を公表した犯人（逃亡中）の一人は35歳頃の米国人と推定される。

これらの誘拐の特徴として、米ドルで身代金を要求していた事、電話は使用せず、新聞広告を使ったり、タクシー等を使って直接メッセージを届ける手法が取られていた事、被害者の多くがサン・ミゲル・デ・アジェンデ市の高級ゴルフ場「ラス・ベントナス」を頻繁に利用していた事が挙げられている。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

（1）2017年第一四半期は引き続き、グアナファト州における犯罪組織の抗争が激しくなっており、殺人件数が増加するとともに、犯罪組織が出入りするバーやディスコにおける襲撃事件が複数発生した。5月21日、アパセオ・エル・アルト市のバー「ラ・カバーニャ」の襲撃事件には、日系ペルー人が1名巻き込まれたことから分かる通り、犯行のターゲットが犯罪組織であっても流れ弾に遭う可能性があることから、夜間の外出やバー、ディスコ等への出入りについては極力避けることが勧められる。

（2）また、高速道路での強盗事件が増えており、5月31日には、道路に置かれていた石に乗り上げパンクした後、路肩で確認しようとした際にけん銃を持った男性に襲われ、その後数時間連れ回された後、辺鄙な場所で解放される事件が発生した。他にも邦人に対する類似の強盗未遂事件が複数発生して

おり（6月13日、7月3日、7月11日の3回、イラブアトーサラマンカ間の国道沿いで発生。何れもけん銃使用。往電第357号参照）、極力道路沿いで止まらない事、貧困地域近くの道路や渋滞中の道路では周囲に注意を払う等の対策を取る事が勧められる。